NIPPON GOOD PARTS NGP News
2026年3月19日発行
■発行責任者／佐藤幸雄 ■編集・制作／(株)プロトリオス
■発行／(株)NGP 東京都港区港南2-12-32　サウスポート品川4F
TEL03(6705)1212
2026 3 月号
全国整備工場の皆様へNGP組合員200拠点がお届けするお役立ち情報
No.420

組合員表彰制度を通じて、各社の好事例を共有

生産部門第1位は(株)空知オートパーツ、販売部門第1位は(有)リサイクルガレージケーワンが受賞

NGPは、NGPブランドのさらなる普及拡大に貢献した組合員を評価することを目的として、出荷点数の多い組合員を表彰する「生産部門」、お客様への納品点数が多い組合員を表彰する「販売部門」の二つの表彰制度を設定しています。

2024年度の生産部門第1位は(株)空知オートパーツ（亀井洋社長、本社＝北海道赤平市）が、販売部門第1位は(有)リサイクルガレージケーワン（牛場健次社長、本社＝千葉県船橋市）が、それぞれ2年連続で受賞しました。

NGPは、お客様に常に高品質なリユース部品を供給し続けていくため、今後も様々な取り組みを推進してまいります。

生産部門（出荷点数）
第1位

**株式会社
空知オートパーツ**

出荷点数
21,550点

(株)空知オートパーツ・亀井洋社長 受賞コメント

このたび生産部門で2年連続の第1位という評価を頂戴し、大変うれしく思っております。当社では、限られた入庫台数の中でも「1台からどれだけ価値を引き出せるか」を常に意識しながら、生産効率と品質の両方を高める取り組みを続けてきました。

車両の状態や季節によって需要が変わる北海道ならではの特徴を踏まえ、どの部品を優先して生産すべきかを日々現場で話し合い、判断基準をそろえることでムダのない作業を心がけています。また、部品取りや点検の段階で迷いが生じないよう、スタッフ同士で確認しあえる環境づくりにも力を入れてきました。

こうした積み重ねが、昨年に続いて今年も評価につながったのだと思っています。今回の受賞を励みに、今後もNGPブランドの供給力向上に貢献できるよう、生産体制の強化に取り組んでまいります。そして来年もこの賞をいただけるよう、社員一同さらに努力を重ねてまいります。

販売部門（販売点数）
第1位

**有限会社
リサイクルガレージケーワン**

販売点数
21,937点

(有)リサイクルガレージケーワン・牛場健次社長 受賞コメント

このたび販売部門で2年連続の第1位という表彰をいただき、誠にありがとうございます。昨年度に続き今年も多くのお客様に当社が紹介する商品をご購入いただけたことを、大変誇りに思います。

当社では、お客様に安心してご利用いただけるよう、在庫の探し方のノウハウの共有を実施し、問い合わせへの対応速度や納品後のフォローまでを丁寧に行うことを心がけてきました。特に、LINEやペーパーレスFAXを活用した受発注体制の定着や、離職率の低さから得られるスムーズな社内外でのコミュニケーションが、結果として販売点数の増加に大きく寄与しているように感じております。

今回の連続受賞は、社員一人ひとりが日々コツコツと積み重ねてきた努力の結果です。これからも得意先の皆様に「頼んで良かった」と思っていただける対応を続け、NGP全体の発展に貢献して参ります。

topics

日整連、2025年度「自動車特定整備業実態調査」結果の概要を公表

総整備売上高が４年連続増加しただけでなく、令和に入って最大の伸びを記録

日本自動車整備振興会連合会（喜谷辰夫会長、日整連）はこのほど、2025年度の「自動車特定整備業実態調査」結果の概要を公表しました。今回の調査は2025年６月末時点のデータをまとめたもので、整備売上高は同月末時点に最も近い決算期分の数値を基にしているため、実質的には2024年度の実績となります。

それによると、総整備売上高は前年比6.4％・4,031億円増の６兆6,592億円と４年連続で増加しました（**表１**）。業態別では、専業整備工場が同13.4％・3,005億円増の２兆5,488億円、兼業工場が同0.4％・30億円増の7,746億円、ディーラーが同2.5％・750億円増の３兆493億円、自家整備工場が同9.4％・246億円増の2,865億円でした（**グラフ１**）。

作業内容別で全業態合計の売上高では、自家用車が対象の「２年車検整備」が同5.7％・1,064億円増の１兆9,645億円、「１年車検整備」が同8.4％・573億円増の7,392億円、「事故整備」は9.4％・1,055億円増の１兆2,253億円、「その他整備」が同4.6％・979億円増の２兆2,374億円となりました。

今回調査時点の事業場数は、前年度比133事業場減（0.14％減）の92,251事業場で４年ぶりに減少しました（**グラフ２**）。指定工場数は同122事業場減（0.4％減）の29,810事業場でした。

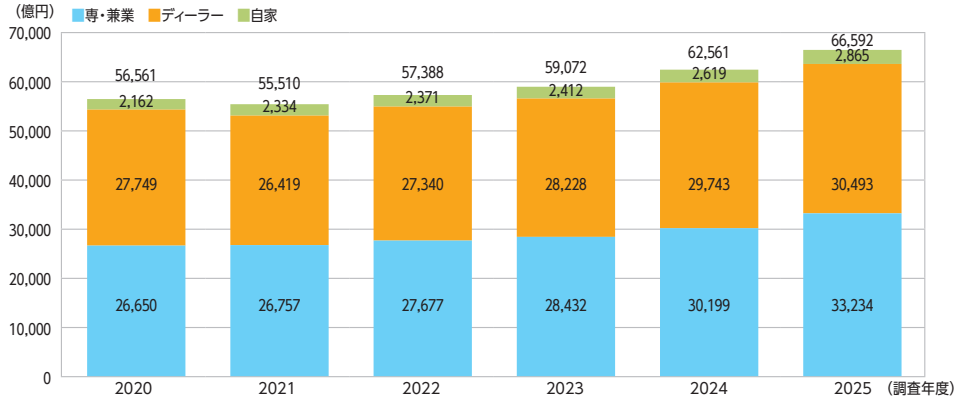
整備要員数は402,367人（前年度比342人・0.09％増）、整備士数は333,475人（同428人・0.13％増）となり、そのうち女性の整備要員数は19,368人（同33人増）、整備士数は10,553人（同14人減）でした。また、整備要員の平均年齢（自家を除く）は47.7歳で、前年度と比較すると0.3歳上昇しました。

表1　2025年度　自動車特定整備業実態調査結果

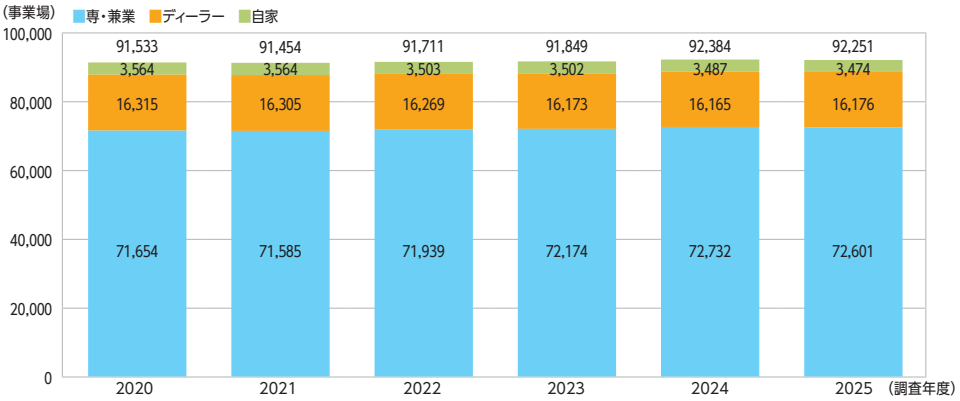
（単位：億円）

		車検整備			定期点検整備				事故整備	その他整備	合計
		2年	1年	小計	12ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	小計			
専・兼業	売上高	10,011	4,981	14,992	724	192	505	1,421	6,188	10,633	33,234
	増減額	+257	+357	+614	+43	+26	+91	+160	+1,070	+1,191	+3,035
	増減率	+2.6%	+7.7%	+4.3%	+6.3%	+15.7%	+22.0%	+12.7%	+20.9%	+12.6%	+10.1%
専業	売上高	7,137	4,307	11,444	484	153	459	1,096	4,817	8,131	25,488
	増減額	+415	+485	+900	+34	+41	+99	+174	+725	+1.206	+3,005
	増減率	+6.2%	+12.7%	+8.5%	+7.6%	+36.6%	+27.5%	+18.9%	+17.7%	+17.4%	+13.4%
兼業	売上高	2,874	674	3,548	240	39	46	325	1,371	2,502	7,746
	増減額	−158	−128	−286	+9	−15	−8	−14	+345	−15	+30
	増減率	−5.2%	−16.0%	−7.5%	+3.9%	−27.8%	−14.8%	−4.1%	+33.6%	−0.6%	+0.4%
ディーラー	売上高	8,782	2,074	10,856	2,592	457	274	3,323	5,519	10,795	30,493
	増減額	+722	+230	+952	+213	+11	−23	+201	−73	−330	+750
	増減率	+9.0%	+12.5%	+9.6%	+9.0%	+2.5%	−7.7%	+6.4%	−1.3%	−3.0%	+2.5%
自家	売上高	852	337	1,189	147	17	20	184	546	946	2,865
合計	売上高	19,645	7,392	27,037	3,463	666	799	4,928	12,253	22,374	66,592
	増減額	+1,064	+573	+1,637	+272	+40	+48	+360	+1,055	+979	+4,031
	増減率	+5.7%	+8.4%	+6.4%	+8.5%	+6.4%	+6.4%	+7.9%	+9.4%	+4.6%	+6.4%

グラフ1　総整備売上高の推移



グラフ2　事業場数の推移



NGP 今月のCO_2削減量

リサイクル部品利用に伴うCO_2削減量

令和８年１月：**1,918t**

※自動車リサイクル部品産学共同研究会が、「自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果の研究」の結果をもとに、NGPが販売したリユース部品の90品目（左右ある部品を含むと115品目）と、リビルト部品の３部品を対象に算出した数値です。

リターナブル梱包材利用に伴うCO_2削減量

令和８年１月：**0.3t**

※リターナブル梱包材の利用に伴う削減効果はNGP協同組合独自のCO2排出量削減の取り組みです。段ボールに代えて、専用梱包材を繰り返し使用することを前提に削減効果を算出しております。

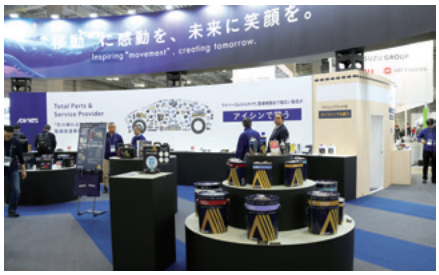
topics

第23回国際オートアフターマーケットEXPO2026開催

環境の変化に対応する整備・修理工場に向けて、幅広い情報・提案を発信

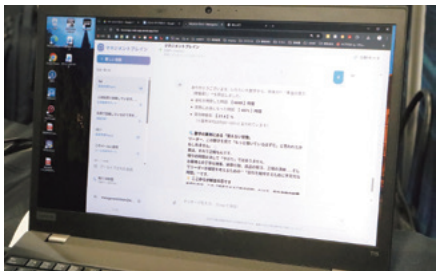
自動車アフターマーケットに関する最新情報・業界動向の発信によって、ビジネス交流の場を創出することを目的とした第23回国際オートアフターマーケットEXPO2026が、2月12～14日の3日間、東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催されました。

展示会場ではカーアフターマーケットに向けた各種製品・サービスが提案され、セミナー会場では業界課題の解決につながる幅広い情報が発信されました。前回同様、第10回国際コインランドリーEXPO2026と同時開催され、同展会場においても洗車ビジネスに関する製品や成功事例などが紹介されました。



アイシン　補修部品、オイル・バッテリー・フィルターをはじめとした消耗品に加え、アイシンのタイヤブランド「AITERRA（アイテラ）」を販売開始し、業界トップクラスの商品群を展示した

アクサルタコーティングシステムズ　今秋発売予定の水性フィラー「U7680」の塗装実演や、トレーニングセンターから中継した全自動調合機「アイラスミックス」による調色作業の実演が注目を集めた



AVARTH（アヴァルト）　整備工場の利益・アワーレートを可視化、経営分析を行うAIサービス「Management Brain」と、バッテリー残量などをLINE連携で行えるAIサービス「Pit Brain」を初披露

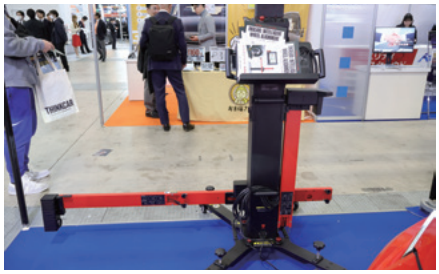
安全自動車　ADASキャリブレーション & アライメント計測& スキャンツールの三位一体機器「IA1000WA」の実演のほか、ファイバーレーザー溶接機、WASHMAN FOR TRUCKなどを提案

イサム塗料　「AXUZ DRY」と「CRONOS HD」の2種類の水性ベースコート、強制乾燥不要の2液型クリヤー「ポリウレアクリヤー NB」を展示し、生産性向上への効果を訴求した

イヤサカ　鈑金関連機器が多めの出展構成ながら最新型のタイヤチェンジャー、ホイールバランサー、アライメントテスターも展示。同時開催のランドリー展ではキャッシュレス洗車場の運営を提案

関西ペイント　「レタンWBエコEVシステム4.0」の導入による、作業環境の改善及びコンプライアンス対応の強化を提案。併せてオール水性導入工場に対する認定制度の創設もPR

コーヨーラドセールス　大型車用EGRクーラーのリビルトパーツ、同社製のラジエーター、コンデンサー、インタークーラー、地下水を利用した冷房装置など幅広い製品・サービスを紹介



整備サポート　機能を絞り込むことでコストパフォーマンスを高めたホイールアライメントシステム「IA500WA」を展示。本体は持ち運びが可能で、設置工事なく導入できる

日本ペイント　プラサフ、ベースコート、クリヤーのすべてを水性塗料で構成する「nax E-CUBE WB 水性システム」のほか、2月に販売を開始した「イージス（3：1）TSクリヤー3」などを出品

BTO　ウィンドウコーティングの「クリスタービュー」が「クリスタービュー EDGE」へと進化。また、商流の関係でBPRO商品を購入できなかった法人ユーザーに向けた、ECサイトを開設

ロックペイント　通常の配合検索に加え、専用の測色計を使用した測色検索にも対応する配合検索サイト「RCMD+」を紹介。初期費用を抑えて、測色検索が可能なコストパフォーマンスを訴求した

NGP組合員
かわら版

教育支援活動

NGP、中学生のSDGs企業訪問を受け入れ

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合は２月５日、SDGsについて学習することを目的とした、川崎市立東橘中学校（神奈川県川崎市）の２年生５人の企業訪問を受け入れました。

はじめに、NGPと自動車リサイクルの概要について簡単に紹介した後、自動車リサイクルの一連の流れを「バーチャル工場見学」と題した映像に沿って説明しました。映像の後には、使用済み自動車のASR（シュレッダーダスト）から作られたアップサイクル製品や、本物のリユース部品、実際に回収している銅やプラスチックなどの再生資源の実物に触れてもらい、使用済み自動車から発生する廃棄物を抑制するための仕組みについて、映像と実物を交えながら詳しく解説しました。

次に、NGPにおけるSDGsの取り組みを説明しました。2030年までに、使用済み自動車の処理台数とリユース部品の生産点数、リユース部品利用によるCO_2削減効果について定量的な目標を設定し、その達成に向けて活動していることや、戦後最大級の産業廃棄物不法投棄事件が発生した香川県豊島で、環境保全・再生活動への参加と、瀬戸内オリーブ基金に対する寄付活動などに取り組んでいることを紹介しました。これらの取り組みの紹介を通して、環境問題に対して当事者意識を持つことの大切さを伝えました。

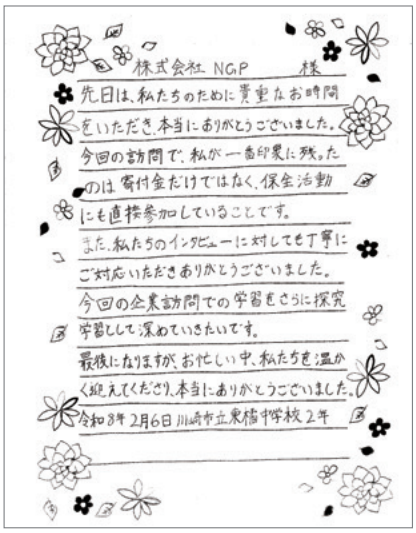
最後に、サーキュラーエコノミーの実現に向けた取り組みについて紹介し、将来的に新しい資源を必要としない循環型の経済を目指す必要性を示しました。

生徒からは「1ヵ月でどのぐらいのCO_2を削減するのか？」といった自動車リサイクルに関する内容から、「この仕事で必要な力は？」、「仕事の１日のスケジュールは？」といった普段の仕事に関する内容まで、様々な角度から質問が寄せられ、自動車リサイクル事業に対する関心の高さが伺えました。

後日、参加した生徒の皆様から感想のお手紙が届きました。中には「今回の訪問で、私が一番印象に残ったのは寄付金だけではなく、保全活動にも直接参加していることです」といった声もあり、NGPのSDGsへの取り組みや想いがしっかりと伝わっていました。NGPはこれからも自動車リサイクル事業を通じて、各種教育支援活動に取り組んでまいります。

NGPの取り組みや自動車リサイクルの一連の流れを学ぶ

アップサイクル製品や再生資源、リユース部品の実物に触れ、自動車リサイクル事業に対する理解を深めた



株式会社 NGP 様

先日は、私たちのために貴重なお時間をいただき、本当にありがとうございました。
今回の訪問で、私が一番印象に残ったのは寄付金だけではなく、保全活動にも直接参加していることです。
また、私たちのインタビューに対しても丁寧にご対応いただきありがとうございました。
今回の企業訪問での学習をさらに探究学習として深めていきたいです。
最後になりますが、お忙しい中、私たちを温かく迎えてくださり、本当にありがとうございました。
令和8年2月6日 川崎市立東橘中学校 2年

後日届いた感想のお手紙

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局
〒108-0075　東京都港区港南2-12-32　サウスポート品川４Ｆ
TEL:03-6705-1208　FAX:03-6705-1209
https://www.ngp.gr.jp/

株式会社NGP
〒108-0075　東京都港区港南2-12-32　サウスポート品川4F
TEL:03-6705-1212　FAX:03-6705-1201
https://www.ngp.co.jp/